

単年度用		R2決算用		
事業番号	4 - 75 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 6 交通安全対策費	
事業名	交通安全施設対策事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	道路交通法 附則第16条～			
実施の背景	交通の安全を図るため、交通安全施設の設置及び維持補修を行う。			
目的	交通危険箇所の改善、歩行者・車両双方にとって安全で円滑な交通の推進。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>	
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容 <input type="radio"/>		
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
●交通安全施設修繕料 2,965,688円				
カーブミラー修繕 22件 1,950,058円				
ガードレール修繕 3件 342,430円				
区画線修繕 1件 673,200円				
●交通安全施設設置工事 1,391,170円				
ガードレール設置工事 5件 774,070円				
標識設置工事 2件 330,000円				
車止め設置工事 1件 287,100円				
合 計 4,356,858円				
関連事業	交通安全施設対策費寄付金			

単年度用		R2決算用				
事業番号	4 - 75 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 6 交通安全対策費			
事業名	交通安全施設対策事業		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）			
コスト	合計	4,500	4,357	4,411	4,320	
		需用費 3,000	需用費 2,966	需用費 2,958	需用費 2,980	
	内訳	工事請負費 1,500	工事請負費 1,391	工事請負費 1,453	工事請負費 1,340	
	人件費	合計	0.50 人 3,196	0.50 人 3,196	0.50 人 3,513	0.50 人 3,455
		正職員	0.40 人 2,979	0.40 人 2,979	0.40 人 3,257	0.40 人 3,214
		臨時職員等	0.10 人 217	0.10 人 217	0.10 人 256	0.10 人 241
		総事業費	7,696	7,553	7,924	7,775
	合計	4,500	4,357	4,411	4,320	
	財源	国県支出金	国県支出金の内容			
地方債						
その他特財		その他特財の内容				
一般財源		4,500	4,357	4,411	4,320	
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	カーブミラー修繕		件	22	13	38
	ガードレール修繕		件	3	4	1
	交通安全施設設置工事		円	1,391,170	1,452,480	1,340,280
単位当たりコスト		総事業費 / 市民	円	179	185	179
事業成果	成果目標	安全で円滑な交通の推進を目的とすることから、市内人身事故発生件数の削減。				
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
		市内人身事故発生件数（各年1.1～12.31の件数）	件	104	109	97
事業の自己評価		交通安全施設の拡充を図るとともに、交通安全啓蒙活動も重要である。				
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用		
事業番号	4 - 99 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 6 交通安全対策費	
事業名	台風災害関連経費（交通安全施設：修繕）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 令和1年度	
根拠法令等	道路交通法 附則第16条～			
実施の背景	令和元年の台風15号により、カブミラ等の交通安全施設が被災したため。			
目的	カブミラ等の修繕			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 市内業者		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先	実施主体
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容		
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	修繕料	5,622,530円		
	恩田橋欄干補修	99,000円		
	ガードレール修繕 4mスパンレール交換修繕	9箇所	3,489,520円	
カブミラ-頭部交換修繕 φ800、φ600頭部交換修繕	8箇所	2,034,010円		
関連事業				

単年度用		R2決算用				
事業番号	4 - 99 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 6 交通安全対策費			
事業名	台風災害関連経費（交通安全施設：修繕）		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）			
コスト	合計	0	5,623	3,380	0	
		需用費	5,623	3,380		
	内訳					
	人件費	合計	0.00 人	0	0.00 人	0
		正職員	人	0	人	0
		臨時職員等	人	0	人	0
		総事業費	0	5,623	3,380	0
合計	0	5,623	3,380	0		
財源	国県支出金	国県支出金の内容				
	地方債					
	その他特財	その他特財の内容				
	一般財源	0	5,623	3,380	0	
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	修繕費	円	5,622,530	3,380,300	-	
	単位当たりコスト	総事業費 / 市民	円	133	79	-
成果目標	台風被害による修繕であるため、成果指標を設定することは困難である。					
事業成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
事業の自己評価	対象施設は、市内全域に多数設置されており、被害箇所の把握が困難であり、相当の期間を要す。 被害箇所の把握は、市民からの連絡が主である。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用		
事業番号	40 - 13 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費	
事業名	土木総務関係費 1		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 平成17年度	
根拠法令等	地方自治法、公共用財産管理条例			
実施の背景	「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」（地方分権一括法）が平成12年4月1日に施行され、国土交通省（旧建設省）所管の赤道（里道）・青道（水路）などの法定外公共物が無償で市町村へ譲与されたことに伴い、市が法定外公共物の所有者となり、財産管理・機能管理ともに行うことになった。			
目的	法定外公共物の維持管理のため。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>	実施主体 <input type="radio"/>
		その他 <input type="radio"/>	その他の内容	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	●旅費	1,720円		
	●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための事務費 消耗品 トナーカートリッジ テブラテープ パウチフィルム ブックエンド	254,034円		
	●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための管理システム用機器保守業務委託 カラープリンター 1台 委託料 【契約期間 R2.4.1~R3.3.31】	53,900円		
●法定外公共物の財産管理者として、適正な管理をするための管理システム用機器借上料 カラープリンター 1台 借上料 【再リース契約期間 R2.4.1~R3.3.31】	13,200円			
●県道路協会負担金 令和2年度会費 通常会費 特別会費	54,000円 21,000円 33,000円			
関連事業				

単年度用		R2決算用				
事業番号	40 - 13 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費			
事業名	土木総務関係費 1		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度(予算)	令和2年度(決算)	令和元年度(決算)			
コスト	合計	543	377	203	200	
	内訳	需用費	259	254	137	129
		委託料	219	54	53	53
		旅費	36	54	13	18
		使用料及び賃借料	29	13		
	人件費	合計	1.70 人	12,662	1.70 人	13,841
		正職員	1.70 人	12,662	1.70 人	13,841
		臨時職員等	人	0	人	0
	総事業費	13,205	13,039	14,044	12,209	
	財源	合計	543	377	203	200
国庫支出金		国庫支出金の内容				
地方債						
その他特財		7	21	9	10	
一般財源		536	356	194	190	
事業実績	活動指標名(実績値/目標値)		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	公共用財産使用許可申請		件	75	58	63
	法定外公共物の用途廃止申請		件	2	3	9
単位当たりコスト	総事業費	/				
事業成果	成果目標	法定外公共物の適正な管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。				
	成果	成果指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業の自己評価	本市が所有する法定外公共物のその多くが境界未確定であり、位置・範囲の特定が不明確である。費用対効果等を考慮すると、本市が積極的に境界確定を行い、管理していくことは困難であり、現状のままでの管理を継続していく。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用		
事業番号	40 - 13 - 7 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費	
事業名	土木総務関係費 2		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 用地係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 小倉 修一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等				
実施の背景	用地係の所管事務を遂行するための経費。			
目的	用地係の所管事務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者 立会業務代行、登記業務…千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	実施主体
		その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容	
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
●旅費	1,180円			
●消耗品費	697,141円			
・境界標	633,743円			
・事務用品	29,705円			
・書籍	33,693円			
●市道関線未登記処理事業買取単価意見書手数料	44,000円			
●道路等境界確定に係る立会業務代行委託 用地測量及び登記業務委託	4,913,758円			
・立会業務代行委託	2,261,000円			
R2年度発注件数	77件			
境界確定件数（過年度分含む）	58件			
・用地測量及び登記業務委託(4件)	2,652,758円			
●市道関線未登記処理事業用地取得費	226,880円			
●負担金補助	9,600円			
千葉県公共用地対策協議会分担金	6,600円			
千葉県官公署登記事務連絡協議会分担金	3,000円			
関連事業				

単年度用		R2決算用				
事業番号	40 - 13 - 7 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 8 土木費	項 1 土木管理費	目 1 土木総務費			
事業名	土木総務関係費 2		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）			
コスト	合計	7,554	5,893	5,735	5,299	
	内訳	委託料	6,811	4,914	4,766	5,146
		需用費	725	697	488	76
		旅費	12	227	312	36
		負担金補助及び交付金	6	44	77	41
	人件費	合計	1.00 人	1.88 人	1.75 人	2.25 人
		正職員	1.00 人	1.88 人	1.75 人	2.25 人
		臨時職員等	人	0	0	0
	総事業費	15,002	19,896	19,983	23,375	
	財源	合計	7,554	5,893	5,735	5,299
国庫支出金		国庫支出金の内容				
地方債						
その他特財		7 102				
一般財源	7,554	5,893	5,728	5,197		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	道路等境界確定に係る立会代行業務（発注）	件		77	55	64
	道路等境界確定に係る登記業務	件		4	3	3
単位当たりコスト	総事業費	／				
事業成果	成果目標	財産管理者として管理義務があるため、法定外公共物の適正な管理を図る。				
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
道路等境界査定申請に係る境界確定	件		58	53	58	
事業の自己評価	本市が所有する法定外公共物の多くが境界未確定であり、位置・範囲の特定が不明確である。費用対効果等を考慮すると本市が積極的に境界確定を行い、管理していくことは困難であり、現状のままでの管理を継続していく。					
	比較参考値					
その他特記すべき事項						

単年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 13 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁総務費	
事業名	道路橋梁総務関係費			担当課	建設課					
総合戦略施策名	基本目標				担当係	管理補修係				
	基本的な施策の方向				作成責任者	平島敏一				
事務区分	自治事務			法定受託事務				事業開始年度	昭和46年度	
根拠法令等	道路法									
実施の背景	道路管理者として管理業務を遂行するための経費。									
目的	道路管理業務を円滑に遂行することを目的とする。									
事業概要	対象	市民			対象者数(全住民に対する割合)					
					42,170 人 (100.0 %)					
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>	一部委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="radio"/>	
		委託先・指定管理者								
		直接補助	<input type="radio"/>	間接補助	<input type="radio"/>	補助先				
		貸付	<input type="radio"/>	貸付先						
		その他	<input type="radio"/>	その他の内容						
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）									
	●光熱水費		371,633円							
	大貫駅地下歩道水道料		16,500円							
ﾊﾞｽｽﾄｯﾌﾟ等電気料(ﾊﾞｽｽﾄｯﾌﾟ、駐車場、監視カメラ、トイレ)		355,133円								
●道路賠償責任保険料		562,885円								
(市道492km、その他道路28km)										
●道路台帳作成業務委託料		2,783,000円								
富津市道路台帳補正業務委託										
●ﾊﾞｽｽﾄｯﾌﾟ 駐車場ﾄｲﾚ浄化槽保守点検		34,650円								
浅間山ﾊﾞｽｽﾄｯﾌﾟ 駐車場浄化槽保守点検業務委託										
●ﾊﾞｽｽﾄｯﾌﾟ 駐車場ﾄｲﾚ清掃業務委託		231,088円								
浅間山ﾊﾞｽｽﾄｯﾌﾟ 駐車場浄化槽保守点検業務委託										
●道路排水施設管理費負担金		150,849円								
【県道大貫青堀線(大堀立体地下道) 大堀アンダーパス排水機場の維持管理費】										
(負担割合) 県93.4%、市6.6% [流入量比]										
関連事業										

単年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 13 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路橋梁総務費	
事業名	道路橋梁総務関係費			担当課	建設課					
[単位:千円]		令和3年度(予算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		平成30年度(決算)		
コスト	（人件費を除く）	合計	5,136	4,134	1,335	2,661				
		内訳	委託料	3,874	3,049	565	1,188			
			需用費	398	372	562	751			
			役務費	600	562	147	563			
			負担金補助及び交付金	264	151	61	159			
	人件費	合計	0.05人	372	0.05人	407	0.05人	402		
		正職員	0.05人	372	0.05人	407	0.05人	402		
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0		
		総事業費	5,508	4,506	1,742	3,063				
		合計	5,136	4,134	1,335	2,661				
財源	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	10		印鑑証明・諸証明手数料、道路橋梁費寄附金						
	一般財源	5,126	4,134	1,335	2,661					
事業実績	活動実績	活動指標名(実績値/目標値)		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
	単位当たりコスト	総事業費	/							
事業成果	成果目標	道路の適正な維持管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名(実績値/目標値)		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
事業の自己評価	財産管理者として適正な維持管理を図るため、市道等のパトロールを定期的実施する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用		R2決算用	
事業番号	42 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業	
事業シート（概要説明書）			
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費
事業名	防犯灯整備事業		担当課 建設課
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度
根拠法令等	防犯灯等整備対策要綱		
実施の背景	夜間における犯罪の発生を防止し、公衆の安全を図る防犯灯の整備を促進。 →昭和36年8月「防犯灯等整備対策要綱」を閣議決定。 民間人の維持管理する防犯灯については、市町村は努めて費用負担することとなっている。		
目的	夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全・安心な街づくりのために大きな役割を果たす防犯灯を整備する。		
対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>
	委託先・指定管理者	富津市防犯灯LED化事業・・・日立キャピタル(株)	
	直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>
	貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>	実施主体 <input type="radio"/>
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容 <input type="radio"/>	
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
事業概要	●光熱水費・・・電気料 16,182,139円 ・一括前払い契約により支出（メーター設置箇所を除く。）		
	●修繕料・・・2,574,392円 ・防犯灯修繕 34箇所 1,020,455円 ・道路照明灯修繕 32箇所 1,553,937円		
	●LED防犯灯借上料 7,717,680円 ・月額643,140円×12ヶ月 ・5,455灯 ・借上している防犯灯の修繕料含む		
	●防犯灯新設工事 38灯 887,392円 ・前期 22灯 511,852円 ・後期 16灯 375,540円		
	※新設工事以外での防犯灯の増減 地元区からの寄付 1灯 道路照明から防犯灯へ 1灯		
	H31.3.31時点 6,582灯 R2.3.31時点 6,623灯 R3.3.31時点 6,655灯		
	関連事業		

単年度用		R2決算用				
事業番号	42 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費			
事業名	防犯灯整備事業		担当課 建設課			
[単位：千円]						
コスト	合計	令和3年度(予算)	令和2年度(決算)	令和元年度(決算)	平成30年度(決算)	
		32,185	27,362	27,117	27,346	
		需用費 23,567	需用費 18,757	需用費 18,726	需用費 18,739	
		使用料及び賃借料 7,718	使用料及び賃借料 7,718	使用料及び賃借料 7,718	使用料及び賃借料 7,718	
	工事請負費 900	工事請負費 887	工事請負費 673	工事請負費 889		
	内訳	合計	0.50 人	3,724	0.50 人	3,724
		正職員	0.50 人	3,724	0.50 人	3,724
		臨時職員等	人	0	人	0
	総事業費	35,909	31,086	31,188	31,363	
	財源	合計	32,185	27,362	27,117	27,346
	国県支出金	国県支出金の内容				
	地方債					
	その他特財	その他特財の内容				
	一般財源	32,185	27,362	27,117	27,346	
事業実績	活動実績	活動指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
		LED灯導入数(リース管理)	灯	5,455	5,455	5,455
		要望にかかると新規導入数(LED灯)	灯	38	42	44
	撤去(廃止)数	灯	0	1	-	
単位当たりコスト	総事業費 /	富津市民	737	729	722	
事業成果	成果目標	安全・安心な街づくりを目的としていることから、市内犯罪件数の削減。				
	成果	成果指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
		市内発生犯罪件数(各年1.1~12.31の件数)	件	211	287	299
事業の自己評価	各区からの要望に対応できるよう効率的に防犯灯を設置し、また、引き続きLED灯を導入し省エネルギー化に努めた。また、住民から修繕等の連絡があった場合には迅速に対応した。					
比較参考値						
その他特記すべき事項	平成27年度に一般公募型プロポーザルにより決定した選定業者と賃貸借契約を締結し、LED灯への交換後(市内5,455灯)、10年間の維持管理(修繕)を含む賃貸借を開始した。					

単年度用		R2決算用	
事業番号	42 - 15 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	
0			
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費
事業名	富津聖苑地元整備事業		担当課 建設課
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一
事務区分	自治事務	法定受託事務	事業開始年度 平成30年度
根拠法令等	本郷区との覚書		
実施の背景	富津聖苑の操業にあたり、本郷区と「火葬場を地元地区に設置する年限は業務開始時から25年以内とする。」(平成30年1月末まで)との覚書を締結した、このことに伴い、今後の火葬場の在り方について協議をした結果、君津地域4市での広域での火葬場整備を行うこととなった。しかし、広域火葬場の稼働が覚書の期限内に合わないことから、改めて、要望事項等を記した使用期限延長の覚書を取り交わした。		
目的	本郷区と締結した覚書を順守し、市が管理する道路の安全な通行を確保するため、維持・補修を行う。 夜間の犯罪や事故を未然に防止し、安全・安心な街づくりのために大きな役割を果たす防犯灯を整備する。		
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)
	実施方法	直接実施	業務委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者	市内業者
		直接補助	間接補助 <input type="checkbox"/> 補助先 <input type="checkbox"/> 実施主体 <input type="checkbox"/>
		貸付	貸付先 <input type="checkbox"/>
		その他	その他の内容 <input type="checkbox"/>
事業内容 (金額を含めた予算の執行内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ●市道 本谷線舗装修繕工事 13,420,000円 7x7.7m舗装工 A=2,280㎡ ●市道役場四区線区画線設置工事 1,155,000円 区画線設置 (実線) L=1,360m (破線) L=6m 			
関連事業			

単年度用		R2決算用				
事業番号	42 - 15 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業				
0						
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費			
事業名	富津聖苑地元整備事業		担当課 建設課			
[単位 : 千円]						
コスト	合計	令和3年度(予算)	令和2年度(決算)	令和元年度(決算)	平成30年度(決算)	
		16,982	14,575	5,844	168	
		工事請負費 16,982	工事請負費 14,575	使用料及び賃借料 4,453	工事請負費 168	
				原材料費 1,391		
	人件費	合計	0.38 人 2,830	0.38 人 2,830	0.10 人 814	0.10 人 803
		正職員	0.38 人 2,830	0.38 人 2,830	0.10 人 814	0.10 人 803
		臨時職員等	人 0	人 0	人 0	人 0
	総事業費		19,812	17,405	6,658	971
	財源	合計	16,982	14,575	5,844	168
		国県支出金	国県支出金の内容			
地方債						
その他特財		その他特財の内容				
一般財源		16,982	14,575	5,844	168	
事業実績	活動指標名(実績値/目標値)		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	防犯灯設置		灯			7
	舗装打ち替え		㎡	2,280	998	
単位当たりコスト		総事業費 /				
事業成果	成果目標	富津聖苑の操業にあたり、本郷区と締結した覚書に基づく事業を行うものであり、成果目標の設定は困難である。				
	成果	成果指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業の自己評価	覚書に基づく事業を全て実施することが出来た。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用				R2決算用					
事業番号	42 - 25 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業					
事業シート（概要説明書）									
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路維持費
事業名	道路維持事業			担当課	建設課				
総合戦略施策名	基本目標				担当係	管理補修係			
	基本的な施策の方向				作成責任者	平島敏一			
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="checkbox"/>	事業開始年度	昭和46年度			
根拠法令等	道路法第16条、第42条								
実施の背景	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。								
目的	市道等の市が管理する道路の安全な通行を確保するため維持・修繕を行う。								
事業概要	対象	市民			対象者数(全住民に対する割合)				
					42,170 人 (100.0 %)				
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="checkbox"/>	一部委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者							
		直接補助	<input type="checkbox"/>	間接補助	<input type="checkbox"/>	補助先			
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先					
その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容							
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）									
<ul style="list-style-type: none"> ●直営維持補修 道路面の整備、陥没、側溝蓋の交換など速やかに対応するため、保有資機材を用いて直営で行う。 土のう袋・工事用看板、ダンブ等燃料・車検代、重機借上など・・・50,619,813円 ●委託（外注）維持修繕 危険性の高い箇所樹木の剪定や除草などを委託 12,765,494円 街路樹（高木）剪定、道路区域の除草など 11,916,294円 測量・設計業務 849,200円 									
直営で対応困難な、規模の大きな修繕や専門技術を要する維持修繕工事 道路舗装打ち換え、路肩補修など 23,199,751円									
合 計 86,585,058円									
関連事業									

単年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 25 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	2	道路維持費	
事業名	道路維持事業			担当課	建設課					
[単位：千円]		令和3年度（予算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）		平成30年度（決算）		
コスト	（人件費を除く）	合計	65,091	86,585	64,208	84,058				
		内訳	需用費	20,947	25,312	19,872	23,079			
			委託料	12,000	21,236	8,254	17,597			
			原材料費	11,750	12,765	7,116	10,329			
			使用料及び賃借料	10,750	11,567	7,044	6,949			
	その他	9,644	15,705	21,922	26,104					
	人件費	合計	12.20 人	61,833	12.20 人	61,833	12.20 人	68,625	12.20 人	67,072
		正職員	6.70 人	49,904	6.70 人	49,904	6.70 人	54,549	6.70 人	53,827
		臨時職員等	5.50 人	11,929	5.50 人	11,929	5.50 人	14,076	5.50 人	13,245
	総事業費		126,924	148,418	132,833	151,130				
財源	合計	65,091	86,585	64,208	84,058					
	国庫支出金	国庫支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	33,800	16,700	8,200	8,900					
	一般財源	31,291	69,885	56,008	63,758					
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
	道路舗装修繕、排水修繕等		箇所	462	434	402				
	単位当たりコスト		総事業費 / 修繕箇所	321	306	376				
事業成果	成果目標	道路を常時良好な状態に保ち、一般交通に支障を及ぼさないようにする。なお、道路の維持管理状況・一般交通への影響を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
事業の自己評価	緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な道路環境の維持に努める。 道路の老朽化が進み、修繕での対応も限界に近づいている路線もあるため、大規模な修繕工事を実施する必要がある。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 35 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	5	橋梁維持費	
事業名	橋梁維持事業			担当課	建設課					
総合戦略施策名	基本目標				担当係	管理補修係				
	基本的な施策の方向				作成責任者	平島敏一				
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="checkbox"/>	事業開始年度	昭和46年度				
根拠法令等	道路法第16条、第42条									
実施の背景	道路管理者として、道路を構成する橋梁を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。									
目的	市道等の市が管理する道路を構成する橋梁の安全な通行を確保するため維持・修繕を行う。									
事業概要	対象	市民			対象者数(全住民に対する割合)			42,170 人 (100.0 %)		
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="checkbox"/>	一部委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	
		委託先・指定管理者 市内業者								
		直接補助	<input type="checkbox"/>	間接補助	<input type="checkbox"/>	補助先				
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先						
		その他	その他の内容							
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）										
●橋梁維持修繕料										
市道志駒上郷線白糸橋修繕 261,800円										
関連事業										

単年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 35 - 5 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	5	橋梁維持費	
事業名	橋梁維持事業			担当課	建設課					
[単位：千円]		令和3年度（予算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）		平成30年度（決算）		
コスト	（人件費を除く）	合計	880	262	469	216				
		内訳	需用費	880	262	370	216	委託料		
						99	補償補填及び賠償金			
	人件費	合計	1.28 人	6,366	1.28 人	6,366	0.40 人	2,698	0.40 人	2,651
		正職員	0.68 人	5,065	0.68 人	5,065	0.30 人	2,442	0.30 人	2,410
		臨時職員等	0.60 人	1,301	0.60 人	1,301	0.10 人	256	0.10 人	241
総事業費		7,246	6,628	3,167	2,867					
財源	合計	880	262	469	216					
	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	800	その他特財の内容 公共施設等マネジメント基金繰入金							
	一般財源	80	262	469	216					
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
		橋梁修繕等	箇所	1	2	1				
	単位当たりコスト	総事業費	／	修繕箇所	6,628	1,584	2,867			
事業成果	成果目標	橋梁を常時良好な状態に保ち、一般交通に支障を及ぼさないようにする。なお、橋梁の維持管理状況・一般交通への影響を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
事業の自己評価	緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な橋梁の維持に努める。 道路の老朽化が進み、修繕での対応も限界に近づいている路線もあるため、大規模な修繕工事を実施する必要がある。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年度用				R2決算用					
事業番号	42 - 45 - 15 - 1			成果説明書・掲載事業					
事業シート（概要説明書）									
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費
事業名	市道湊富士見台線整備事業			担当課	建設課				
総合戦略施策名	基本目標				担当係	建設係			
	基本的な施策の方向				作成責任者	岩崎 太志			
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="checkbox"/>	事業開始年度	平成30年度			
根拠法令等	道路法								
実施の背景	当該市道については、天羽中学校への通学路を兼ねる生活圏道路であるが、道路幅員が狭く車の通行や歩行者の安全に支障があるため、改良する必要性が高い。								
目的	拡幅可能な箇所について拡幅工事を実施し、道路環境の整備を図ることを目的とする。								
事業概要	対象	市民			対象者数(全住民に対する割合)	42,170 人 (100.0 %)			
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>	一部委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者	入札による						
		直接補助	<input type="checkbox"/>	間接補助	<input type="checkbox"/>	補助先			
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先					
	その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容						
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）								
	全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 5 年度						
	市道湊富士見台線整備事業 L=920m W=4.5~7.0m								
	●市道湊富士見台線及び排水路 測量、用地測量、設計業務、不動産鑑定、物件調査、用地取得、物件補償、登記業務、埋蔵文化財調査 道路・排水整備工事								
施行済									
道路改良工事、測量、設計業務									
当該年度									
●市道富士見台線整備工事 33,018,700円 ●市道富士見台線用地測量業務委託 23,980,000円 ●市道富士見台線立会業務委託 819,900円 ●地質調査業務委託 220,000円									
翌年度以降									
用地測量、設計業務、不動産鑑定、物件調査、用地取得、物件補償、登記業務、埋蔵文化財調査、道路・排水整備工事									
関連事業									

複数年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 45 - 15 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道湊富士見台線整備事業			担当課	建設課					
[単位：千円]	令和3年度(予算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		平成30年度(決算)			
コスト	内訳	合計	27,709	58,039	0	13,716				
		工事請負費	25,000	33,019			委託料	13,716		
		委託料	1,500	25,020						
		補償補填及び賠償金	1,000							
		需用費	174							
	旅費	35								
	人件費	合計	0.30 人	2,235	0.30 人	2,235	0.30 人	2,442	0.30 人	2,410
		正職員	0.30 人	2,235	0.30 人	2,235	0.30 人	2,442	0.30 人	2,410
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費		29,944	60,274	2,442	16,126				
財源	合計	27,709	58,039	0	13,716					
事業実績	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債	25,000	57,100		13,700					
	その他特財	その他特財の内容								
	一般財源	2,709	939	0	16					
事業成果	活動実績	活動指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
	成果目標	天羽中学校生徒の学習環境、生徒、市民の安全を確保しながら整備を図る。								
比較参考値	成果	成果指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
	事業の自己評価									
その他特記すべき事項										

複数年年度用				R2決算用					
事業番号	42 - 45 - 57 - 1			成果説明書・掲載事業					
事業シート（概要説明書）									
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費
事業名	二間塚地域排水整備事業			担当課	建設課				
総合戦略施策名	基本目標				担当係	建設係			
	基本的な施策の方向				作成責任者	岩崎 太志			
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="checkbox"/>	事業開始年度	平成30年度			
根拠法令等									
実施の背景	長年二間塚地域において地域排水と農業用水が兼用されてきたが、農業用水の経路変更に伴い当該水路が利用されないため、水路整備と流末変更の必要がある。								
目的	地域排水を整備し、地域の生活を安心、安全にする。								
事業概要	対象	市民			対象者数(全住民に対する割合)	42,170 人 (100.0 %)			
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>	一部委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者	入札による						
		直接補助	<input type="checkbox"/>	間接補助	<input type="checkbox"/>	補助先			
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先					
	その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容						
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）								
	全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 3 年度						
	●二間塚地域排水整備事業 L=610m 事業内容 境界測量、設計業務、物件補償、道路・排水整備工事								
	施行済								
測量設計業務（本管）									
当該年度	●二間塚地域排水整備（その1）工事 96,800,000円 （令和3年度へ繰越、令和2年度支出：前払金38,720,000円） ●二間塚地域排水整備（その1）工事に伴う家屋調査（事前）業務委託 3,050,300円								
翌年度以降	道路・排水整備工事、物件補償								
関連事業									

複数年年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 45 - 57 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	二間塚地域排水整備事業			担当課	建設課					
[単位：千円]		令和3年度（予算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）		平成30年度（決算）		
コスト	合計	100,000		41,770		8,140		9,666		
		工事請負費	99,500	工事請負費	38,720	委託料	8,140	委託料	9,666	
	内訳	補償補填及び賠償金	500	委託料	3,050					
	人件費	合計	0.30 人	2,235	0.30 人	2,235	0.30 人	2,442	0.30 人	2,410
		正職員	0.30 人	2,235	0.30 人	2,235	0.30 人	2,442	0.30 人	2,410
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費		102,235		44,005		10,582		12,076	
	合計		100,000		41,770		8,140		9,666	
	財源	国県支出金								
国県支出金の内容										
地方債		99,500		38,700				9,600		
その他特財										
その他特財の内容										
一般財源	500		3,070		8,140		66			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
	単位当たりコスト	総事業費	/							
事業成果	成果目標	地域排水整備事業の完成								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
排水路の完成				路線	0	0	0			
事業の自己評価	地域排水を整備し、市民生活の安全、安心を向上させる。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用		R2決算用		
事業番号	42 - 45 - 59 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道等局部改良事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等				
実施の背景	道路、橋梁、水路等の施設が経年劣化し、機能低下が生じている状況を改善する必要がある。			
目的	著しく低下した各施設の機能を回復させ、市民生活を安定させる。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者 入札による		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	実施主体
		その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	<ul style="list-style-type: none"> ●市道相川竹岡線排水整備工事 4,840,000円 排水構造物（300×300）L=112.7m ●市道上川大溝線排水整備（その3）工事 4,950,000円 排水構造物（300×300）L=75.9m ●市道長崎桜井線道路整備工事 4,730,000円 排水構造物（300×300）L=65.0m 			
	関連事業			

単年度用		R2決算用				
事業番号	42 - 45 - 59 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費			
事業名	市道等局部改良事業		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）			
コスト	合計	15,000	14,520	9,677	9,709	
		工事請負費 15,000	工事請負費 14,520	工事請負費 9,677	工事請負費 9,709	
	内訳					
	人件費	合計	0.30 人 2,235	0.30 人 2,235	0.30 人 2,442	0.30 人 2,410
		正職員	0.30 人 2,235	0.30 人 2,235	0.30 人 2,442	0.30 人 2,410
		臨時職員等	人 0	人 0	人 0	人 0
		総事業費	17,235	16,755	12,119	12,119
	合計	15,000	14,520	9,677	9,709	
財源	国県支出金					
	国県支出金の内容					
	地方債	13,500	13,000	8,700	8,700	
	その他特財	1,500				
	一般財源	0	1,520	977	1,009	
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	単位当たりコスト	総事業費 /				
事業成果	成果目標	著しく低下した施設の機能を回復する工事を完了する。				
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業の自己評価	今後増加が予想される著しく低下する施設の機能回復に対応する必要がある。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

複数年度用		R2決算用		
事業番号	42 - 60 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 5 橋梁維持費	
事業名	橋梁長寿命化修繕事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標	3 くらしやすく移住しやすい環境づくり		
	基本的な施策の方向	① くらしやすく環境を整える	担当係 建設係 作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	日本の道路橋は、昭和30年代に始まる高度経済成長期を中心に大量に建設され、これら道路橋の多くは建設後約40年～50年が経過し、更に管理橋梁の多くが、急速に高齢化が進む状況となっている。			
目的	本計画は、定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架け替えを着実に進め、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕・架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施	○	業務委託 ○ 一部委託 指定管理
		委託先・指定管理者	入札による	
		直接補助	間接補助	補助先 実施主体
		貸付	貸付先	
		その他	その他の内容	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	全体計画	計画期間	平成 25 年度 ～ 令和 4 年度	
	富津市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、計画的な維持修繕等の実施により橋梁の長寿命化を図る。 ※橋梁長寿命化修繕計画：補修の優先順位を決め、修繕費を試算し、修繕費の平準化を図る計画			
	施行済	富津市道の橋梁点検（5年毎）1回 橋梁長寿命化修繕計画（5年毎）1回 橋梁修繕業務委託 5件 橋梁修繕工事 5橋		
当該年度	●橋梁(海岸橋、桜井橋、神田橋、毘沙門橋、久縄橋)補修工事 計157,696,000円 ●橋梁補修設計（一川橋、清滝橋）業務委託 計13,695,000円			
翌年度以降	市道海岸線(海岸橋)橋梁補修(上部工架設)工事 橋梁補修(桜井橋)工事 橋梁補修(丹後橋)工事			
関連事業				

複数年度用		R2決算用								
事業番号	42 - 60 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	○							
事業シート（概要説明書）										
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 5 橋梁維持費							
事業名	橋梁長寿命化修繕事業		担当課 建設課							
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算） 平成30年度（決算）							
コスト	内訳	合計	241,600	171,391	45,430	18,526				
		工事請負費	237,600	157,696	委託料 45,430	委託料 18,526				
		委託料	3,000	13,695						
		補償補填及び賠償金	1,000							
	人件費	合計	0.80 人	5,959	0.80 人	5,959	0.40 人	3,257	0.40 人	3,214
		正職員	0.80 人	5,959	0.80 人	5,959	0.40 人	3,257	0.40 人	3,214
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
		総事業費		247,559		177,350		48,687		21,740
財源	合計	241,600	171,391	45,430	18,526					
	国県支出金	131,230	93,451	24,953	10,119					
	国県支出金の内容	社会資本整備総合交付金（H29まで国55%、H30から国50%）								
	地方債	104,100	53,900	5,500						
	その他特財	3,200		14,977	7,797					
事業実績	その他特財の内容	公共施設等マネジメント基金繰入金								
	一般財源	3,070	24,040	0	610					
	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
		定期点検業務（橋梁）	業務	—	—	1				
		計画策定業務（橋梁）	業務	—	—	1				
橋梁補修工事		橋	1	—	1					
単位当たりコスト	総事業費	／								
事業成果	成果目標	富津市の橋梁の長寿命化と橋梁の修繕、架け替えに係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
		工事進捗率（対策完了橋/対策実施する橋）	%	1	—	—				
		※R1～R10までに対策を実施する橋：145橋(全体192)								
事業の自己評価	平成26年3月31日国土交通省令第39号により、5年ごとの近接目視による点検が義務づけられたことから、点検結果をふまえて緊急度等を考慮し橋梁を選定し、防災・安全交付金を活用すべく社会資本総合整備計画に盛り込み、引き続き橋梁長寿命化を進めていくこととなる。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年年度用		R2決算用		
事業番号	42 - 60 - 40 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	法面長寿命化修繕事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 平成30年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	富津市が管理している市道部の法面は多数あり、これらの法面の状況を的確に把握し維持していく必要がある			
目的	本計画は、定期点検による法面の状態の把握、予防的な修繕を着実に進め、法面の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者	入札による	
		直接補助	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
		その他	その他の内容	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	全体計画	計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	
	●法面点検を実施し、富津市法面長寿命化修繕計画を作成する。この計画に基づき、社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）を活用し、計画的な維持修繕等の実施により法面の長寿命化を図る。 ※法面長寿命化修繕計画：補修の優先順位を決め、修繕費を試算し、修繕費の平準化を図る計画			
	施行済			
点検・計画策定				
当該年度	●富津市法面修繕計画策定業務委託 6,865,100円 ●市道松原下掘切線法面工事 18,040,000円（令和3年度へ繰越、令和2年度支出：前払金3,600,000円）			
翌年度以降	点検・計画策定・詳細設計・補修工事			
関連事業				

複数年年度用		R2決算用					
事業番号	42 - 60 - 40 - 1	成果説明書・掲載事業					
事業シート（概要説明書）							
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費				
事業名	法面長寿命化修繕事業		担当課 建設課				
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算） 平成30年度（決算）				
コスト	内訳	合計	57,100	10,465	9,709	0	
		委託料	2,100	6,865	9,709		
		工事請負費	55,000	3,600			
	人件費	合計	0.27 人	2,011	0.27 人	2,198	0.00 人
		正職員	0.27 人	2,011	0.27 人	2,198	人
		臨時職員等	人	0	人	0	人
		総事業費	59,111	12,476	11,907	0	
		合計	57,100	10,465	9,709	0	
財源	国県支出金	55,300		4,832			
	国県支出金の内容	社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）					
	地方債						
	その他特財	1,700					
	その他特財の内容	公共施設等マネジメント基金繰入金					
一般財源	100	10,465	4,877	0			
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
		定期点検業務（法面）	業務	—	1	—	
		計画策定業務（法面）	業務	1	—	—	
	単位当たりコスト	総事業費	／				
事業成果	成果目標	富津市の法面の長寿命化と法面の修繕に係る費用の縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するため、計画期間内での整備を成果指標とする。					
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
		工事進捗率（年度末施工済額/総事業費）	%	—	—	—	
事業の自己評価	5年ごとの近接目視による点検が義務づけられたことから、点検結果をふまえ緊急度を考慮し路線を選定し、防災・安全交付金を活用すべく社会資本総合整備計画に盛り込み、引き続き長寿命化を進めていくこととなる。						
比較参考値							
その他特記すべき事項							

複数年度用				R2決算用					
事業番号	42 - 75 - 10 - 1			成果説明書・掲載事業	○				
事業シート（概要説明書）									
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費
事業名	市道山王下飯野線整備事業			担当課	建設課				
総合戦略施策名	基本目標	3くらしやすく移住しやすい環境づくり			担当係	用地係			
	基本的な施策の方向	①	くらしやすい環境を整える		施策番号	3			
事務区分	自治事務	○		法定受託事務					
根拠法令等	道路法								
実施の背景	市道山王下飯野線は都市計画道路に指定されている路線であり、一般国道465号と市街地を結ぶ道路ネットワークとしての機能を有する重要な路線である。								
目的	当該路線の整備により、市役所本庁舎及び大貫駅周辺地区の将来的な発展に繋がる。また、県道大貫青堀線には歩道が未整備な箇所があり、車両との接触事故が発生していることから、早期の整備を図る。								
対象	市民			対象者数(全住民に対する割合)					
				42,170 人 (100.0 %)					
実施方法	直接実施	○		業務委託					
	委託先・指定管理者	登記業務…千葉県公共嘱託登記土地家屋調査士協会							
	直接補助			間接補助					
	貸付			貸付先					
その他	その他の内容								
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）									
全体計画	計画期間			平成 24 年度 ~ 令和 3 年度					
事業概要	市道山王下飯野線整備事業 L=1,300m W=12.0m								
	●社会資本整備総合交付金都市再生整備計画事業（庁舎及び大貫駅周辺地区）								
	H29年度から社会資本整備総合交付金（道路事業）								
	H24年度	道路詳細設計・地質調査							
	H25年度	用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査							
	H26年度	用地取得・物件補償							
	H27年度	土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・埋蔵文化財調査							
	H28年度	用地取得・埋蔵文化財調査・道路改良工事							
	H29年度	埋蔵文化財調査・用地取得							
	H30年度	埋蔵文化財調査							
R元年度	埋蔵文化財調査								
R2年度	用地取得								
施行済	道路詳細設計・地質調査・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償埋蔵文化財調査								
当該年度	<ul style="list-style-type: none"> ●市道山王下飯野線事業用地取得 4,837,545円 ●市道山王下飯野線登記業務委託料 168,982円 ●市道山王下飯野線不動産鑑定 867,900円 ●収入印紙 1,000円 								
翌年度以降	<ul style="list-style-type: none"> ●用地取得 ●物件補償 ●道路改良工事 								
関連事業									

複数年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 75 - 10 - 1			成果説明書・掲載事業	○					
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道山王下飯野線整備事業			担当課	建設課					
[単位：千円]	令和3年度（予算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）		平成30年度（決算）			
	合計	0		5,875		23,749		8,401		
コスト (人件費を除く)	内訳	公有財産購入費	4,837		委託料	23,749		委託料	8,401	
		手数料	868							
		委託料	169							
		需用費	1							
人件費	合計	0.00	人	0	0.20	人	1,490	0.20	人	1,628
	正職員	人		0	0.20	人	1,490	0.20	人	1,628
	臨時職員等	人		0	人	0	人	0	人	0
総事業費	0		7,365		25,377		15,230			
合計	0		5,875		23,749		8,401			
財源	国庫支出金			613		11,875		4,621		
	地方債			500						
	その他特財					11,874		3,780		
	一般財源	0		4,762		0		0		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度			
		用地取得	件		1	—		—		
		埋蔵文化財調査業務委託	件		—	2		1		
		登記業務委託	件		1	—		—		
単位当たりコスト	総事業費		/							
成果目標	富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。									
成果	成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
	道路の完成	路線		0	0		0			
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

複数年年度用		R2決算用		
事業番号	42 - 75 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道下飯野線整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標	③くらしやすく移住しやすい環境づくり		
	基本的な施策の方向	①くらしやすい環境を整える	施策番号 3 作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	市道下飯野線は、千葉県で整備が進められている県道君津大貫線（本郷バイパス）と県道大貫青堀線を東西に連絡する、交通移動円滑化に資する重要な路線である。			
目的	当該路線の整備により、市役所本庁舎や消防防災センター等の公共施設と富津市域とのアクセス性が向上し、県道の交通分散化による渋滞緩和と防災機能の強化を図る。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施	業務委託	一部委託
		委託先・指定管理者		
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
	その他	その他の内容		
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	全体計画	計画期間	平成 25 年度 ～ 令和 4 年度	
	市道下飯野線整備事業 L=1,870m W=11.5m ●社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） H29年度から社会資本整備総合交付金（道路事業） H24年度 道路詳細設計・地質調査業務 H25年度 用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査 H26年度 用地取得 H27年度 土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事 H28～31年度 用地取得・物件補償・道路改良工事 R2年度 用地取得・物件調査・物件補償・道路改良工事			
	施行済	道路詳細設計・地質調査・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事		
当該年度	<ul style="list-style-type: none"> ●市道下飯野線事業用地取得 9,035,776円 ●市道下飯野線物件補償 3,881,493円 ●市道下飯野線測量業務 792,000円 ●道路改良工事 23,980,000円 ●市道下飯野線物件調査 1,287,000円 ●市道下飯野線登記業務 2,134,715円 ●市道下飯野線不動産鑑定 621,720円 ●収入印紙 2,000円 			
翌年度以降	●道路改良工事			
関連事業				

複数年年度用		R2決算用		
事業番号	42 - 75 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道下飯野線整備事業		担当課 建設課	
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）	
コスト	合計	98,765	41,735	
	内訳	工事請負費	90,000	23,980
		補償補填及び賠償金	3,000	9,036
		委託料	4,337	4,214
		公有財産購入費	1,425	3,881
		需用費	3	624
		その他		
	人件費	合計	0.85 人	6,331
		正職員	0.85 人	6,331
		臨時職員等	人	0
総事業費	105,096	48,066	51,571	
合計	98,765	41,735	44,651	
財源	国県支出金	47,119	17,532	
	地方債	45,700	14,200	
	その他特財			
	一般財源	5,946	10,003	
	社会資本整備総合交付金 (H29まで国55%、H30から国50%)			
合計	98,765	41,735	44,651	
事業実績	活動実績	活動指標名(実績値/目標値)	単位	
	用地取得	千円	9,036	
	道路改良工事	千円	23,980	
	物件補償	千円	3,881	
単位当たりコスト	総事業費	/		
事業成果	成果目標	富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。		
	成果	成果指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度
事業の自己評価	道路の完成	路線	0	0
	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。			
比較参考値				
その他特記すべき事項				

複数年年度用		R2決算用		
事業番号	42 - 75 - 18 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費	
事業名	市道浅間山線整備事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標	3くらしやすく移住しやすい環境づくり		
	基本的な施策の方向	①くらしやすい環境を整える	担当係 建設係 作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 平成25年度	
根拠法令等	道路法			
実施の背景	市道浅間山線は、一般国道465号と主要地方道久留里鹿野山湊線を結ぶバイパス路線であり、富津市有数の観光施設であるマザー牧場等への重要なアクセス道路である。			
目的	東関東自動車道館山線竹岡ICまでの4車線化に伴い、今後、更なる交通量の増加が見込まれることから円滑な交通を確保し、観光振興へ寄与する。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施	業務委託 ○	一部委託
		委託先・指定管理者	入札による	
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	実施主体
	その他	その他の内容		
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	全体計画	計画期間	平成 25 年度 ~ 令和 4 年度	
	市道浅間山線道路改良事業 L=1,780m W=9.0m			
	●社会資本整備総合交付金（道路事業）			
H26年度	路線測量・道路概略設計			
H27年度	道路詳細設計・地質調査			
H28年度	道路改良工事			
H29年度	道路改良工事			
H30年度	-			
H31（R1）年度	道路改良工事・用地測量			
R2年度	道路改良工事・用地取得			
R3年度以降	土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・登記業務・物件補償・道路改良工事			
施行済	道路詳細設計・地質調査・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償・道路改良工事			
当該年度	●市道浅間山線事業用地取得 4,964,228円 ●市道浅間山線土地評価業務 2,479,785円 ●市道浅間山線不動産鑑定 1,608,750円 ●市道浅間山線用地測量業務 9,747,000円（繰越分） ●道路改良工事 56,444,600円 ●収入印紙 2,000円			
翌年度以降	土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・登記業務・物件補償・道路改良工事			
関連事業				

複数年年度用		R2決算用				
事業番号	42 - 75 - 18 - 1	成果説明書・掲載事業	○			
事業シート（概要説明書）						
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 3 道路新設改良費			
事業名	市道浅間山線整備事業		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）			
コスト	合計	119,559	75,246	7,680	0	
	内訳	工事請負費	90,000	工事請負費 56,445	委託料 3,860	
		補償補填及び賠償金	26,000	委託料 12,227	工事請負費 3,820	
		公有財産購入費	3,500	公有財産購入費 4,964		
		委託料	31	手数料 1,609		
		需用費	28	その他 1		
	人件費	合計	0.60 人 4,469	0.60 人 4,469	0.60 人 4,885	0.00 人 0
		正職員	0.60 人 4,469	0.60 人 4,469	0.60 人 4,885	人 0
		臨時職員等	人 0	人 0	人 0	人 0
	総事業費	124,028	79,715	12,565	0	
財源	合計	119,559	75,246	7,680	0	
	国県支出金	57,500	35,214	3,840		
	国県支出金の内容	社会資本整備総合交付金（H29まで国55%、H30から国50%）				
	地方債	55,700	31,100	3,400		
	その他特財					
	その他特財の内容					
一般財源	6,359	8,932	440	0		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	用地取得	千円		4,964	-	-
	道路改良工事	千円		56,445	3,820	-
	単位当たりコスト	総事業費	/			
成果目標	富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。					
事業成果	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	道路の完成	路線		0	0	0
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

複数年年度用				R2決算用					
事業番号	42 - 75 - 20 - 1			成果説明書・掲載事業					
事業シート（概要説明書）									
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費
事業名	市道学校前線整備事業			担当課	建設課				
総合戦略施策名	基本目標	③くらしやすく移住しやすい環境づくり			担当係	建設係			
	基本的な施策の方向	①くらしやすい環境を整える	施策番号	3	作成責任者	岩崎 太志			
事務区分	自治事務	<input type="radio"/>	法定受託事務	<input type="checkbox"/>	事業開始年度	平成25年度			
根拠法令等	道路法								
実施の背景	本路線は金谷小学校の通学路であるとともに、金谷地区の避難路にもなっていることから、早急に整備し道路機能の強化を図る。								
目的	本路線は幅員が狭く車と人とのすれ違い時に事故が発生する恐れがあるため、改良工事を実施し安全かつ円滑な通行を図る。								
事業概要	対象	市民			対象者数(全住民に対する割合)	42,170 人 (100.0 %)			
	実施方法	直接実施	<input type="checkbox"/>	業務委託	<input type="radio"/>	一部委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者	入札による						
		直接補助	<input type="checkbox"/>	間接補助	<input type="checkbox"/>	補助先	<input type="checkbox"/>	実施主体	<input type="checkbox"/>
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先	<input type="checkbox"/>				
	その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容						
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）								
	全体計画	計画期間	平成 25 年度 ~ 令和 4 年度						
	市道学校前線道路整備事業 L=133m W=5.0m								
	L型擁壁工	L=32m							
重力式擁壁工	L=73m								
ボックスカルバート工	L=6m								
舗装工	A=600m ²								
側溝布設工	L=122m								
集水ます工	N=1基								
施行済									
用地取得・道路改良工事									
当該年度	●市道学校前線道路改良工事 9,020,000円								
翌年度以降	道路改良工事								
関連事業									

複数年年度用				R2決算用						
事業番号	42 - 75 - 20 - 1			成果説明書・掲載事業						
事業シート（概要説明書）										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道学校前線整備事業			担当課	建設課					
[単位:千円]	令和3年度(予算)	令和2年度(決算)	令和元年度(決算)	平成30年度(決算)						
コスト	合計	10,000	9,020	0	9,612					
		工事請負費	10,000	工事請負費	9,020		工事請負費	9,612		
	内訳									
	人件費	合計	0.20人	1,490	0.20人	1,490	0.20人	1,628	0.20人	1,607
		正職員	0.20人	1,490	0.20人	1,490	0.20人	1,628	0.20人	1,607
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	11,490	10,510	1,628	11,219					
	財源	合計	10,000	9,020	0	9,612				
国県支出金	5,000	4,221		4,806						
国県支出金の内容	社会資本整備総合交付金（H29まで国55%、H30から国50%）									
地方債	4,500	3,700		4,300						
その他特財	その他特財の内容									
一般財源	500	1,099	0	506						
事業実績	活動実績	活動指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
		道路改良工事	千円	9,020	-	9,612				
	単当たりコスト	総事業費	/							
事業成果	成果目標	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。								
	成果	成果指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
	道路の完成	路線	0	0	0					
事業の自己評価	国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

事業番号		42 - 80 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業		○				
事業シート (概要説明書)										
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費	
事業名	市道小久保岩瀬線整備事業					担当課	建設課			
総合戦略施策名	基本目標	① 3くらしやすく移住しやすい環境づくり			担当係	建設係				
	基本的な施策の方向	① くらしやすい環境を整える			施策番号	3				
事務区分	自治事務	○		法定受託事務						
根拠法令等	道路法									
実施の背景	市道小久保岩瀬線は、市役所本庁舎及び大貫駅周辺地区を南北に連絡し一般国道465号と465号バイパス結ぶ重要な路線である。									
目的	当該箇所の幅員狭隘区間を解消することにより、市役所周辺へのアクセス性が高まり市役所本庁舎や消防防災センター等の公共施設を拠点とした整備効果を広域に及ぼし、また、防災安全の向上を図る。									
事業概要	対象	市民				対象者数(全住民に対する割合)		42,170 人 (100.0 %)		
	実施方法	直接実施			業務委託	○		一部委託		
		委託先・指定管理者	入札による							
		直接補助			間接補助			補助先		
		貸付			貸付先					
	その他	その他の内容								
	事業内容 (金額を含めた予算の執行内容)									
	全体計画	計画期間		平成 25 年度 ~ 令和 4 年度						
	市道小久保岩瀬線整備事業 L=590m W=14.5m ※H29年度から地方創生道整備推進交付金									
	H24年度	道路詳細設計・地質調査業務・用地測量								
H25年度	土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償									
H26年度	用地取得									
H29年度	埋蔵文化財調査・道路改良工事									
H30年度	道路改良工事									
R元年度	道路改良工事									
R2年度	道路改良工事									
施行済	道路詳細設計・地質調査業務・用地測量・土地評価・不動産鑑定・物件調査・用地取得・物件補償									
当該年度	<ul style="list-style-type: none"> ●市道小久保岩瀬線 (道路改良、照明、舗装) 工事 計129,804,000円 ●交通量調査業務 291,500円 									
翌年度以降	契約繰越分									
<ul style="list-style-type: none"> ●市道小久保岩瀬線道路照明設置工事 ●市道小久保岩瀬線舗装工事 										
関連事業										

R2決算用

事業番号		42 - 80 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業		○			
事業シート (概要説明書)									
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	道路新設改良費
事業名	市道小久保岩瀬線整備事業					担当課	建設課		
[単位:千円]		令和3年度(予算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		平成30年度(決算)	
コスト	合計			130,096		55,092		47,999	
		工事請負費	129,804		工事請負費	55,092		工事請負費	47,999
	委託料	292							
	人件費	合計	0.00 人	0	0.30 人	2,235	0.50 人	4,071	0.50 人
	正職員	人	0	0.30 人	2,235	0.50 人	4,071	0.50 人	4,017
	臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	0		132,331		59,163		52,016	
財源	合計	0		130,096		55,092		47,999	
	国県支出金			53,204		27,546		23,999	
	地方債			47,700		24,700		21,100	
	その他特財								
	一般財源	0		29,192		2,846		2,900	
事業実績	活動指標名(実績値/目標値)			単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
	道路改良工事			千円	129,804	55,092	47,999		
	業務委託			千円	292				
単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標		富津市の道路網を整備し、定住・観光・産業の振興を図るため、計画期間内での完成を成果目標とする。						
	成果指標名(実績値/目標値)			単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
道路の完成			路線	1	0	0			
事業の自己評価		国の交付金の配分が計画通りになるように、関係機関や千葉県と連絡を密にして事業を推進する。							
比較参考値									
その他特記すべき事項									

R2決算用

単年度用		R2決算用		
事業番号	42 - 99 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費	
事業名	台風災害関連経費（防犯灯：修繕）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 令和元年度	
根拠法令等	防犯灯等整備対策要綱			
実施の背景	令和元年の台風15号により、防犯灯施設が被災したため。			
目的	防犯灯の修繕			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者 富津市防犯灯LED化事業・・・日立キャピタル(株)		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>	実施主体 <input type="radio"/>
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容 <input type="radio"/>		
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	●防犯灯修繕料 735,828円			
	台風により被災した防犯灯の灯具撤去、ポール柱建替え、器具交換など			
	修繕箇所 11箇所			
関連事業				

単年度用		R2決算用					
事業番号	42 - 99 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業					
事業シート（概要説明書）							
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁総務費				
事業名	台風災害関連経費（防犯灯：修繕）		担当課 建設課				
[単位：千円]							
コスト	合計	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）	平成30年度（決算）		
		0	736	2,143	0		
	内訳	需用費	736	2,143			
	人件費	合計	0.00 人	0	0.00 人	0	
		正職員	人	0	人	0	
		臨時職員等	人	0	人	0	
		総事業費	0	736	2,143	0	
	合計	0	736	2,143	0		
財源	国県支出金	国県支出金の内容					
	地方債						
	その他特財	その他特財の内容					
	一般財源	0	736	2,143	0		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	修繕費		円	735,828	2,143,168		
	単位当たりコスト		総事業費 / 市民	円	17	50	
事業成果	成果目標	台風被害による修繕であるため、成果指標を設定することは困難である。					
	成果	成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業の自己評価	対象施設は、市内全域に多数設置されており、被害箇所の把握が困難であり、相当の期間を要す。 被害箇所の把握は、市民からの連絡が主である。						
比較参考値							
その他特記すべき事項							

単年度用		R2決算用		
事業番号	42 - 99 - 10 -	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 2 道路維持費	
事業名	台風災害関連費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 令和元年度	
根拠法令等	道路法第16条、第42条			
実施の背景	令和元年の台風15号により、道路施設が被災したため。			
目的	道路施設の修繕等			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	
		その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	●修繕料 20,476,025円 法面、排水、道路修繕 富津・大佐和 10件 5,842,625円 天羽 22件 14,633,400円			
	●倒木等処理業務委託料 11,614,352円 台風15号に伴う倒木処理（枝、葉、根、幹、竹、木くず） 富津・大佐和 9件 3,788,356円 天羽 21件 7,825,996円			
	●重機借上料 9,133,245円 道路上に倒れた樹木等の除去等 富津・大佐和 6件 5,303,925円 天羽 16件 3,829,320円			
関連事業				

単年度用		R2決算用					
事業番号	42 - 99 - 10 -	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>				
事業シート（概要説明書）							
科目	款 8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 2 道路維持費				
事業名	台風災害関連費		担当課 建設課				
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）				
コスト	合計	0	41,224	73,691	0		
	内訳	需用費	20,476	63,295			
		委託料	11,615	9,411			
		使用料及び賃借料	9,133	881			
		原材料費		104			
	合計	0.00 人	0	0.00 人	0	0.00 人	
	正職員	人	0	人	0	人	
	臨時職員等	人	0	人	0	人	
	総事業費		0	41,224	73,691	0	
	合計		0	41,224	73,691	0	
財源	国県支出金	国県支出金の内容					
	地方債						
	その他特財	その他特財の内容					
	一般財源	0	41,224	73,691	0		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	道路等修繕		箇所	32	81		
	倒木・土砂撤去		箇所	52	107		
	単位当たりコスト	総事業費 / 市民		978	1,724		
事業成果	成果目標	台風被害による修繕であるため、成果指標を設定することは困難である。					
	成果	成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業の自己評価	道路施設の復旧は、市民の日常生活に直接影響する重要な事業であるため、台風災害による復旧事業を遅滞なく実施した。						
比較参考値							
その他特記すべき事項							

単年度用		R2決算用		
事業番号	44 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 1 河川総務費	
事業名	河川総務関係費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務		事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	法定外負担金			
実施の背景	河川管理者として管理業務を遂行するための経費。			
目的	河川管理業務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/>		
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/> 間接補助 <input type="checkbox"/> 補助先 <input type="checkbox"/>	実施主体	
		貸付 <input type="checkbox"/> 貸付先 <input type="checkbox"/>		
		その他 <input type="checkbox"/> その他の内容 <input type="checkbox"/>		
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●全国治水砂防協会千葉県支部負担金・・・270,000円 ○正会員費20,000円＋特別事業会費250,000円 ●千葉県河川協会負担金・・・34,000円 ○正会員費20,000円＋特別事業会費14,000円 				
関連事業				

単年度用		R2決算用				
事業番号	44 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 1 河川総務費			
事業名	河川総務関係費		担当課 建設課			
[単位：千円]						
コスト	合計	令和3年度(予算) 217	令和2年度(決算) 304	令和元年度(決算) 322	平成30年度(決算) 273	
	内訳	負担金補助及び交付金	217	304	322	273
	人件費	合計	0.28 人 2,086	0.28 人 2,086	0.30 人 1,605	0.10 人 522
		正職員	0.28 人 2,086	0.28 人 2,086	0.15 人 1,221	0.05 人 402
		臨時職員等	人 0	人 0	0.15 人 384	0.05 人 120
		総事業費	2,303	2,390	1,927	795
	財源	合計	217	304	322	273
	国県支出金	国県支出金の内容				
	地方債					
	その他特財	その他特財の内容				
	一般財源	217	304	322	273	
事業実績	活動指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	各団体通常総会	回	各1	各1	各1	
	単位当たりコスト	総事業費 /				
事業成果	成果目標	河川の適正な維持管理を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。				
	成果	成果指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業の自己評価	各協会会員との連絡を図り、治水等の情報の共有した。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用		
事業番号	44 - 25 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 2 河川維持費	
事業名	河川維持事業		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	河川法第100条、富津市準用河川管理規則、富津市公共用財産管理条例			
実施の背景	河川管理者として、河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、修繕し、河川の氾濫や増水による被害が生じないように努めなければならない。			
目的	準用河川その他市が管理する河川（水路）の正常な流水を確保するため維持・修繕を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先	実施主体
		その他 <input type="radio"/>	その他の内容	
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	●河川維持委託料 矢後川樹木等伐採業務委託 434,500円			
	●重機借上料 金谷川流木撤去に伴う重機借上 203,060円			
	●河川維持費 山田川洗堀防止に伴う原材料費 93,929円			
関連事業				

単年度用		R2決算用				
事業番号	44 - 25 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 2 河川維持費			
事業名	河川維持事業		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）			
コスト	合計	2,500	731	1,075	396	
	内訳	需用費	1,000	委託料 434	工事請負費 899	使用料及び賃借料 239
		委託料	500	使用料及び賃借料 203	使用料及び賃借料 102	工事請負費 157
		使用料及び賃借料	1,000	原材料費 94	委託料 74	
	人件費	合計	1.18 人	5,621	1.18 人	5,621
		正職員	0.58 人	4,320	0.58 人	4,320
		臨時職員等	0.60 人	1,301	0.60 人	1,301
		総事業費		8,121		6,352
	合計		2,500		731	1,075
財源	合計					
	国県支出金	国県支出金の内容				
	地方債					
	その他特財	その他特財の内容				
一般財源		2,500		731	1,075	
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	河川維持管理工事等実施箇所		箇所	3	2	2
	単位当たりコスト	総事業費 / 実施箇所	千円	2,117	1,887	1,524
事業成果	成果目標		河川を適正に維持管理し、流水の正常な機能を維持する。なお、河川の維持管理状況・流水機能の確保状況を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。			
	成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	成果					
事業の自己評価	緊急度・影響度を勘案し優先順位を考慮しながら、限られた予算の中で、安全・安心な河川機能の維持に努める。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用		
事業番号	44 - 99 - 5 -	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 2 河川維持費	
事業名	台風災害関連経費（河川維持費）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 令和1年度	
根拠法令等	河川法第100条、富津市準用河川管理規則、富津市公共用財産管理条例			
実施の背景	令和元年の台風15号により、河川施設が被災したため。			
目的	河川施設の修繕等			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者 市内業者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	実施主体
		その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容	
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
●倒木等処理業務委託料 8,712円 岩坂 倒木処理委託料				
●重機借上料 10,961,750円 河川に倒れた樹及び流木の除去に伴う重機借上げ料				
小久保川河川災害復旧工事に伴う重機借上げ 4,275,700円 芝崎川流木撤去に伴う重機借上げ 476,410円 普通河川丹後川倒木撤去に伴う重機借上げ 3,399,250円 普通河川恩田川倒木撤去に伴う重機借上げ 1,323,190円 砂防河川相川倒木撤去に伴う重機借上げ 1,487,200円				
関連事業				

単年度用		R2決算用					
事業番号	44 - 99 - 5 -	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>				
事業シート（概要説明書）							
科目	款 8 土木費	項 3 河川費	目 2 河川維持費				
事業名	台風災害関連経費（河川維持費）		担当課 建設課				
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算） 平成30年度（決算）				
コスト	合計	0	10,970	849	0		
	内訳	使用料及び賃借料	10,962	849			
		委託料	8				
	合計	0.00 人	0	0.00 人	0	0.00 人	
	人件費	正職員	人	0	人	0	
	臨時職員等	人	0	人	0		
総事業費		0	10,970	849	0		
財源	合計	0	10,970	849	0		
	国県支出金	国県支出金の内容					
	地方債						
	その他特財	その他特財の内容					
	一般財源	0	10,970	849	0		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	流木・土砂撤去		箇所	6	2		
	単位当たりコスト		総事業費 / 市民	円	260	20	
事業成果	成果目標	河川を適正に維持管理し、流水の正常な機能を維持する。なお、河川の維持管理状況・流水機能の確保状況を表す統計値等がなく、成果指標を設定することは困難である。					
	成果	成果指標名（実績値/目標値）		単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業の自己評価	台風被害による河川施設の災害復旧を遅滞なく実施した。今後も災害復旧事業を速やかに実施する。						
比較参考値							
その他特記すべき事項							

単年度用		R2決算用		
事業番号	46 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 8 土木費	項 4 港湾費	目 1 港湾管理費	
事業名	港湾管理総務関係費		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 昭和46年度	
根拠法令等	法定外負担金			
実施の背景	港湾管理業務を遂行するための経費。			
目的	港湾管理業務を円滑に遂行することを目的とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先 <input type="checkbox"/>	実施主体 <input type="checkbox"/>
	その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容		
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
<ul style="list-style-type: none"> ●千葉県港湾協会負担金・・・23,000円 普通会員 5,000円、特別会員 18,000円 ●木更津港湾愛護協会負担金・・・1,702,000円 ○平成31年度特別とん譲与税85,134,659円の2% ●海上保安協会負担金・・・100,000円 ●浜金谷港美港会負担金・・・50,000円 				
関連事業				

単年度用		R2決算用				
事業番号	46 - 15 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 8 土木費	項 4 港湾費	目 1 港湾管理費			
事業名	港湾管理総務関係費		担当課 建設課			
[単位：千円]						
コスト	合計	令和3年度(予算)	令和2年度(決算)	令和元年度(決算)	平成30年度(決算)	
	内訳	3,842	1,875	2,887	1,914	
	負担金補助及び交付金	3,842	1,875	2,887	1,914	
	人件費	0.21 人	1,564	0.21 人	1,564	
	正職員	0.21 人	1,564	0.10 人	814	
	臨時職員等	人	0	人	0	
総事業費	5,406	3,439	3,701	3,119		
財源	合計	3,842	1,875	2,887	1,914	
事業実績	国県支出金	国県支出金の内容				
	地方債					
	その他特財	その他特財の内容				
	一般財源	3,842	1,875	2,887	1,914	
事業成果	活動実績	活動指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
	各団体通常総会		回	各1	各1	各1
事業成果	成果目標	港湾管理業務を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。				
	成果	成果指標名(実績値/目標値)	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
事業の自己評価	各協会会員との連絡を図り、情報を共有した。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用		
事業番号	64 - 10 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 道路橋梁災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助事業）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度	
根拠法令等	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法			
実施の背景	暴風、こう水、高潮、地震その他の異常な天然現象に困り生ずる災害の速やかな復旧を図り、もって公共の福祉を確保する。			
目的	災害により必要が生じた事業で、被災施設を原形に復旧する。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者	見積・入札による	
		直接補助	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 <input type="checkbox"/>
		貸付	貸付先	実施主体
	その他	その他の内容		
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	道路災害復旧工事（元災道第20号） 小志駒地先 7,370,000円 道路災害復旧工事（元災道第22号） 志駒地先 1,815,000円 道路災害復旧工事（元災道第23号） 不入斗地先 3,688,300円 道路災害復旧工事（元災道第24号） 不入斗地先 1,963,500円 道路災害復旧工事（元災道第25号） 田倉地先 3,328,600円 道路災害復旧工事（元災道第26号） 小志駒地先 4,180,000円 道路災害復旧工事（元災道第28号） 志駒地先 5,830,000円 道路災害復旧工事（元災道第29号） 相川地先 1,815,000円 道路災害復旧工事（元災道第30号） 相川地先 3,355,000円 道路災害復旧工事（元災道第31号） 豊岡地先 1,375,000円 道路災害復旧工事（元災道第32号） 東大和田地先 9,790,000円 道路災害復旧工事（元災道第33号） 高溝地先 1,708,000円 道路災害復旧工事（元災道第104号） 小志駒地先 4,903,800円 道路災害復旧工事（元災道第105号） 宇藤原地先 4,195,000円 道路災害復旧工事（元災道第106号） 金谷地先 11,220,000円 道路災害復旧工事（元災道第107号） 豊岡地先 4,556,200円 道路災害復旧工事（元災道第229号） 山中地先 6,930,000円 道路災害復旧工事（元災道第230号） 志駒地先 3,520,000円 道路災害復旧工事（元災道第231号） 田倉地先 5,720,000円 道路災害復旧工事（元災道第232号） 岩本地先 9,653,600円 工事費計 96,917,000円			
	関連事業			

単年度用		R2決算用				
事業番号	64 - 10 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>			
事業シート（概要説明書）						
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 道路橋梁災害復旧費			
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助事業）		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）			
コスト	合計	0	96,917	29,918	6,620	
		工事請負費	96,917	29,918	6,620	
	内訳					
	人件費	合計	0.00 人	0.20 人	0.80 人	0.80 人
		正職員	0	0.20 人	0.80 人	0.80 人
		臨時職員等	0	0	0	0
		総事業費	0	98,407	36,431	13,047
	合計	0	96,917	29,918	6,620	
財源	国県支出金	63,407	19,995	4,376		
	国県支出金の内容	現年発生公共土木施設災害復旧事業負担金（国2/3）				
	地方債	30,749	9,600	2,100		
	その他特財	その他特財の内容				
一般財源	0	2,761	323	144		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	道路災害復旧工事	件	20	4	2	
単位当たりコスト	総事業費	/				
成果目標	異常気象による公共土木施設の災害復旧事業を実施し、市民の通常生活を復活させる。					
事業成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	工事の完成	箇所	20	4	2	
事業の自己評価	異常気象による公共土木施設の災害復旧を遅滞なく実施し完成した。今後も災害復旧事業を速やかに実施する。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用																																					
事業番号	64 - 10 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業	○																																				
事業シート（概要説明書）																																							
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 道路橋梁災害復旧																																				
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業）		担当課 建設課																																				
総合戦略施策名	基本目標		担当係 管理補修係																																				
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 平島敏一																																				
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 令和元年度																																				
根拠法令等	道路法第16条、第42条																																						
実施の背景	道路管理者として、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。 緊急を要し、かつ国の災害認定の対象とならない災害箇所を復旧する。																																						
目的	主に豪雨等による土砂の崩落により、通行不能となった道路を復旧し、速やかに道路の安全な通行を確保するための復旧を行う。																																						
事業概要	対象	市民	対象者数（全住民に対する割合） 42,170 人（100.0 %）																																				
	実施方法	直接実施 ○	業務委託 ○	一部委託																																			
		委託先・指定管理者 市内業者																																					
		直接補助	間接補助	補助先																																			
		貸付	貸付先	実施主体																																			
		その他	その他の内容																																				
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）																																							
●災害復旧工事（繰越分）																																							
<table border="0"> <tr> <td>市道埋田木戸掘線道路災害復旧工事</td> <td>不入斗地先</td> <td>1,265,000円</td> </tr> <tr> <td>市道大沢線道路災害復旧工事</td> <td>金谷地先</td> <td>924,000円</td> </tr> <tr> <td>市道志駒下郷線道路災害復旧工事</td> <td>志駒地先</td> <td>213,400円</td> </tr> <tr> <td>市道下沢神成線道路災害復旧工事</td> <td>山中地先</td> <td>842,600円</td> </tr> <tr> <td>市道小畑線道路災害復旧工事</td> <td>豊岡地先</td> <td>7,150,000円</td> </tr> <tr> <td>市道売津梨沢線道路災害復旧工事</td> <td>相川地先</td> <td>2,090,000円</td> </tr> <tr> <td>市道奥井沢線道路災害復旧工事</td> <td>志駒地先</td> <td>1,276,000円</td> </tr> <tr> <td>市道常城線道路災害復旧工事</td> <td>関尻地先</td> <td>1,045,000円</td> </tr> <tr> <td>市道環城線道路災害復旧工事</td> <td>小志駒地先</td> <td>1,276,000円</td> </tr> <tr> <td>市道本村線道路災害復旧工事</td> <td>田倉地先</td> <td>963,600円</td> </tr> <tr> <td>道路災害復旧工事（元災道第3号）に伴う附帯工事</td> <td>豊岡地先</td> <td>858,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>工事費計 17,903,600円</td> </tr> </table>				市道埋田木戸掘線道路災害復旧工事	不入斗地先	1,265,000円	市道大沢線道路災害復旧工事	金谷地先	924,000円	市道志駒下郷線道路災害復旧工事	志駒地先	213,400円	市道下沢神成線道路災害復旧工事	山中地先	842,600円	市道小畑線道路災害復旧工事	豊岡地先	7,150,000円	市道売津梨沢線道路災害復旧工事	相川地先	2,090,000円	市道奥井沢線道路災害復旧工事	志駒地先	1,276,000円	市道常城線道路災害復旧工事	関尻地先	1,045,000円	市道環城線道路災害復旧工事	小志駒地先	1,276,000円	市道本村線道路災害復旧工事	田倉地先	963,600円	道路災害復旧工事（元災道第3号）に伴う附帯工事	豊岡地先	858,000円			工事費計 17,903,600円
市道埋田木戸掘線道路災害復旧工事	不入斗地先	1,265,000円																																					
市道大沢線道路災害復旧工事	金谷地先	924,000円																																					
市道志駒下郷線道路災害復旧工事	志駒地先	213,400円																																					
市道下沢神成線道路災害復旧工事	山中地先	842,600円																																					
市道小畑線道路災害復旧工事	豊岡地先	7,150,000円																																					
市道売津梨沢線道路災害復旧工事	相川地先	2,090,000円																																					
市道奥井沢線道路災害復旧工事	志駒地先	1,276,000円																																					
市道常城線道路災害復旧工事	関尻地先	1,045,000円																																					
市道環城線道路災害復旧工事	小志駒地先	1,276,000円																																					
市道本村線道路災害復旧工事	田倉地先	963,600円																																					
道路災害復旧工事（元災道第3号）に伴う附帯工事	豊岡地先	858,000円																																					
		工事費計 17,903,600円																																					
●物件補償費																																							
<table border="0"> <tr> <td>道路災害復旧工事（元災道第107号）に伴う電柱移設</td> <td>769,310円</td> </tr> <tr> <td>道路災害復旧工事（元災道第107号）に伴う電柱移設</td> <td>61,100円</td> </tr> <tr> <td>物件補償費計</td> <td>830,410円</td> </tr> </table>				道路災害復旧工事（元災道第107号）に伴う電柱移設	769,310円	道路災害復旧工事（元災道第107号）に伴う電柱移設	61,100円	物件補償費計	830,410円																														
道路災害復旧工事（元災道第107号）に伴う電柱移設	769,310円																																						
道路災害復旧工事（元災道第107号）に伴う電柱移設	61,100円																																						
物件補償費計	830,410円																																						
関連事業																																							

単年度用		R2決算用				
事業番号	64 - 10 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業	○			
事業シート（概要説明書）						
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 道路橋梁災害復旧			
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業）		担当課 建設課			
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）			
コスト	合計	1,100	18,734	11,068	722	
	内訳	工事請負費	1,100	17,904	8,363	308
		補償補填及び賠償金		830	2,179	248
		原材料費			240	166
		使用料及び賃借料			174	
	人件費	合計	1.28人	6,366	0.40人	2,698
	正職員	0.68人	5,065	0.30人	2,442	
	臨時職員等	0.60人	1,301	0.10人	256	
	総事業費	7,466	25,100	13,766	3,373	
	財源	合計	1,100	18,734	11,068	722
国県支出金	国県支出金の内容					
地方債	5,200					
その他特財	その他特財の内容					
一般財源	1,100	13,534	11,068	722		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	
	道路・橋梁災害復旧箇所		件	11	3	
単位当たりコスト	総事業費	/				
事業成果	成果目標	災害により被災した道路の機能回復を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。				
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	
事業の自己評価	異常気象による公共土木施設の災害復旧を遅滞なく実施し完成した。今後も災害復旧事業を速やかに実施する。					
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用		
事業番号	64 - 20 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 河川災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助事業・河川）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度	
根拠法令等	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法			
実施の背景	暴風、こう水、高潮、地震その他の異常な天然現象に困り生ずる災害の速やかな復旧を図り、もって公共の福祉を確保する。			
目的	災害に困って必要を生じた事業で、災害にかかった施設を原形に復旧する。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者	見積・入札による	
		直接補助	間接補助	補助先
		貸付	貸付先	
	その他	その他の内容		
	事業内容（金額を含めた予算の執行内容）			
	河川災害復旧工事（元災河第7号） 小久保地先 3,900,000円			
	河川災害復旧工事（元災河第8号） 竹岡地先 4,961,000円			
	工事費計 8,861,000円			
関連事業				

単年度用		R2決算用				
事業番号	64 - 20 - 10 - 1	成果説明書・掲載事業				
事業シート（概要説明書）						
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 1 河川災害復旧費			
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（補助事業・河川）		担当課 建設課			
[単位：千円]						
コスト	合計	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）	平成30年度（決算）	
		0	8,861	13,590	3,456	
	内訳	工事請負費	8,861	13,590	3,456	
	人件費	合計	0.00 人	0.20 人	1,628 人	1,607 人
		正職員	0 人	0.20 人	1,628 人	1,607 人
		臨時職員等	0 人	0 人	0 人	0 人
		総事業費	0	10,351	15,218	5,063
	合計	0	8,861	13,590	3,456	
財源	国県支出金		5,910	9,064	2,305	
	地方債		2,951	4,400	1,100	
	その他特財					
	一般財源	0	0	126	51	
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
	道路災害復旧工事	件	1	1	1	
単位当たりコスト	総事業費	/				
事業成果	成果目標	異常気象による公共土木施設の災害復旧事業を実施し、市民の通常生活を復活させる。				
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度
		工事の完成	箇所	1	1	1
事業の自己評価		異常気象による公共土木施設の災害復旧を遅滞なく実施し完成した。今後も災害復旧事業を速やかに実施する。				
比較参考値						
その他特記すべき事項						

単年度用		R2決算用		
事業番号	64 - 20 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業		
事業シート（概要説明書）				
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 2 河川災害復旧費	
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業・河川）		担当課 建設課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 建設係	
	基本的な施策の方向	施策番号	作成責任者 岩崎 太志	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度	
根拠法令等	河川法第100条、富津市準用河川管理規則、富津市公共用財産管理条例			
実施の背景	河川管理者として、河川が適正に利用され、流水の正常な機能を維持し、修繕し、河川の氾濫や増水による被害が生じないように努めなければならない。 緊急かつ国の災害認定の対象とならない災害箇所を復旧する。			
目的	主に豪雨による護岸の崩落などを復旧し、速やかに正常な流水の確保を図るため復旧を行う。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 42,170 人 (100.0 %)	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者 市内業者		
		直接補助 <input type="checkbox"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	実施主体
		その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容	
事業内容（金額を含めた予算の執行内容）				
●災害復旧工事（繰越分） 準用河川小久保川護岸修繕工事 1,287,000円				
関連事業				

単年度用		R2決算用								
事業番号	64 - 20 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業								
事業シート（概要説明書）										
科目	款 11 災害復旧費	項 1 公共土木施設災害復旧	目 2 河川災害復旧費							
事業名	現年発生公共土木施設災害復旧事業（単独事業・河川）		担当課 建設課							
[単位：千円]	令和3年度（予算）	令和2年度（決算）	令和元年度（決算）							
コスト	合計	1,100	1,287	2,039	0					
	内訳	工事請負費	1,100	1,287	委託料	1,564				
					使用料及び賃借料	378				
					需用費	97				
	人件費	合計	1.28 人	6,366	1.28 人	6,366	0.40 人	2,698	0.40 人	2,651
		正職員	0.68 人	5,065	0.68 人	5,065	0.30 人	2,442	0.30 人	2,410
臨時職員等		0.60 人	1,301	0.60 人	1,301	0.10 人	256	0.10 人	241	
総事業費		7,466	7,653	4,737	2,651					
財源	合計	1,100	1,287	2,039	0					
事業実績	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	その他特財の内容								
	一般財源	1,100	1,287	2,039	0					
事業成果	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
	単位当たりコスト	河川災害復旧箇所	件	1	0	0				
事業成果	成果目標	災害により被災した河川の機能回復を行うものであり、成果指標を設定することは困難である。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）	単位	令和2年度	令和元年度	平成30年度				
事業の自己評価	豪雨や台風等の自然災害により発生する災害であり、市民（利用者）の安全・安心を直ちに確保すべく、対応しているが、災害の規模によっては対応に限界が生じる。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										